



イージス前で握手する赤石社長と吉山社長

食品機械などのステンレス加工を手掛ける三山テクノス(伊勢崎市赤堀今井町2-1044-11、赤石祐司社長)は17日、輸入住宅の建設や米国防災シエルターを輸入販売するアンカーハウジング(川崎市川崎区、吉山和實社長)と特約店契約を締結。群馬で唯一の代理店として防災シエルターを販売する。

アンカーハウジングは20年以上にわたり輸入住宅事業を手掛けているハウスメーカー。18年5月から防災シエルター事業を始め、米国アトラス・サバイバル・シエルターを輸入販売している。三山テクノスは個人向け小規模防災シエルター「AEGIS(イージス)」を12月に開発し1月には完成展示会を実施した。展示会の数日後、SNS上でイージスの存在を知った吉山社長が赤石社長に連絡。吉山社長は1年ほど前から日本製のシエルターを探しており、「これは本物だ」と直感した。

吉山社長は「水害に強いイージスと米国製シエルターのノウハウを合体したら世界最強のシエルターが製造できる」と考え、視察後すぐに特約店契約を結んだ。両社間ではイージスの販売契約も進めており、締結後には全国の代理店で群馬県産防災シエルターが販売される予定だ。赤石社長は「シエルターの認知度はまだまだ低い。代理店として群馬の

米国製シエルターの特約店に 防災シエルターの認知度向上へ

三山テクノス

イージスは水に沈め1週間の水漏れ試験を実施するなど、水漏れ防止にこだわった水害に強いシエルター。一方、アンカーハウジングが取り扱う米国製シエルターは水害には対応していない。近年増加する台風などの水害に対応するためには、イージスのような水害に強い防災シエルターが必要となる。

人にシエルターを広め、大きな被害が出る前にできるだけ早く事業を展開していきたい」と話している。(白井晃士)

Ticc



工場で作業する

第5 県

県は群馬県産産業支援機構との共催で17日、創業プラン実現支援塾「創業プラン発表会」を群馬産

月に一度の「塾生勉強会・交流会」などを通して、創業プランをブラッシュアップし、「創業プラン発表会」でプレゼンテーション、展示交流会でビジネスマッチングを図っている。

(白井晃士)

サイバーセキュリティセミナー 群馬県警察など

群馬県中小企業等サイバーセキュリティ支援連絡会と群馬県警察は21日、サイバーセキュリティセミナーを群馬県産業技術センターで開き、約120人が参加した。情報処理推進機構(IPA)セキュリティセンターの磯島裕樹氏が講師を務め、「情報セキュリティの最新動向と中小企業

ライフサイクルアセスメント(LCA)とは、ある製品・サービスのライフサイクル全体(資源採取・原料生産・製品生産・流通・消費・廃棄・リサイクル)または、その特定段階における環境負荷を定量的に評価する手法のこと。投入されるエネルギー量や材料の使用料、排出される二酸化炭素などを算出して環境負荷を洗い出す。

LCAによって、製品やサービスのどの段階で環境負荷が高いかを割り出し、その部分の環境負荷を重点的に低くしていくことで、

今週の注目ワード
CHECK!
「ライフサイクルアセスメント」

効率的に環境負荷を下げることもできる。例えば機能が同じ製品Aと製品Bの二酸化炭素の排出量が異なる場合、製品Aの排出量が製品Bの排出量より少ない場合、製品Aの方が環境負荷が低いと判断できる。この原因が製品Bの処理・処分段階で二酸化炭素の排出量が多いためだとすると、製品Bの処分方法を改善できれば環境負荷を削減することができる。製品のライフサイクル全体での環境負荷を明らかにすることにより、環境に配慮した製品・サービスを検討することが可能。LCAは環境負荷をより包括的に把握する手法として注目されている。

業に... 説明... 情報... 標... 期... 徐々... 報を... 「情報... 脅威... 年... されて... 営... なる... が重... 礎... 撃には... が「... 撃... シ... から... 」に... 説明... 情報... ムを... て、組... 的型... の窃... 撃手... 介し... 標... は、... ソコ... させ... 期... 徐々... 報を... 「情報... 脅威... 年... されて... 営... なる... が重... 礎... 撃には... が「... 撃... シ... から... 」に... 説明... 情報... ムを... て、組... 的型... の窃... 撃手... 介し...